

# 九州周遊 建築散歩

第5回(9月9日)  
シネコンの裏側

## 世界の映画産業を変えたと言われる シネコンを裏側から探索しましょう。

第5回目の「九州周遊建築散歩」は、シネコン(シネマ・コンプレックス)の建物内部を探索します。  
複数のスクリーンを持つシネコンは1960年代にアメリカで誕生し、その後イギリスや日本でも衰退する映画産業の切り札として注目を浴び、各地で建設されてきました。  
今回は、普通入ることのできない舞台裏から、シネコンの成功の理由を考えてみたいと思います。散歩のつもりで気楽に参加してみませんか？

### ワーナー・マイカル・シネマズ 戸畑

タイム・ワーナー・グループが1993年に日本のマイカルグループと合弁会社を設立し、神奈川県海老名市に第1号をオープンしたのが日本初のシネコンでした。  
今回見学を行うワーナー・マイカル・シネマズ 戸畑 は、8つのスクリーンからなるシネコンで、戸畑駅とはペDESTリアンデッキで結ばれています。北九州最大規模のスクリーン3はジョージ・ルーカス考案のTHX音響システムを装備しており、臨場感あふれる音響を楽しむことができます。  
見学内容としては、映写室やバックステージといった日頃入ることのできない箇所を案内していただき、その最新の設備やシステムの説明を伺う予定です。その後は、それらの効果を実際に体感するために映画鑑賞を予定しています。



ワーナー・マイカル・シネマズ 戸畑の外観。  
戸畑駅前にあるSATYの4階に位置する。映画館ばかりでなく、ショッピングや食事も楽しむことができる。



映画館の内観。



シネコン(ワーナー・マイカルではマルチプレックス映画館と呼んでいる)の内観。1フロアに複数のスクリーンが並ぶため、ロビーやトイレ、売店、映写室等を共用できるのが大きな特徴。



最新の映写設備。

 <p>DOLBY DIGITAL</p>	ドルビー社が開発した最新のサウンド・テクノロジーを使用した劇場用デジタル音響システム。最近までデジタルテープまで幅広く表現。
 <p>THX</p>	ルーカス・フィルムによる音響測定に合格した劇場だけに与えられる認証。最高の音響を実現するため、再生システム全体を細かく指定。
 <p>DTS</p>	CC-ROMの音源と8チャンネルのデジタル効果で大迫力のサウンドをつくります。映画「ジュラシックパーク」公開時に日本初採用。
 <p>SDDS Sony Dynamic Digital Sound.</p>	デジタルフィルムサウンド・レコーダー

DTSやSRDなど様々なデジタル録音の再生が可能。



音響システムの概要図。

「九州周遊建築散歩」では次回以降も様々な地域の建築を散策します。分野や専門にかかわらず建築に興味がある方は是非ご連絡下さい。  
連絡先: 北九州大学国際環境工学部N3 31 (内2397)  
代表: D1小川由美子 ([d3640101@hibikino.ne.jp](mailto:d3640101@hibikino.ne.jp))  
事務局: M1大野敦弘 ([m3640101@hibikino.ne.jp](mailto:m3640101@hibikino.ne.jp))

<写真・文章>  
ワーナー・マイカル <http://www.warnermycal.com/>  
ワーナー・マイカルのパンフレット  
ウォーカープラス・ドット・コム  
[http://www.walkerplus.com/kyushu/latestmovie/th\\_detail13.html](http://www.walkerplus.com/kyushu/latestmovie/th_detail13.html)  
映画館に行こう <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~cinema/index2.html>